

「交流サロン」がスタートしました



第1回 高橋恭子さんミュージックコンサート



第2回 春節のご馳走 カラフル餃子を作る

船橋市国際交流協会は、船橋周辺に生活している外国人の方々と市民の直接交流の機会を増やすため2016年1月より（国際）交流サロンをスタートしました。

交流サロンは、毎月第1及び第3木曜日の13:00～15:00に開いています。第1回はミニコンサート、第2回は中国の春節のご馳走、第3回は桜もちを作ろう、と特別プログラムをおこないましたが、基本的には、どなたでも、いつでも気軽に立ち寄り多文化交流の機会を楽しんでいただく場にして行く予定です。飲み物などでくつろいでいただくために、参加費200円（中学生以下は無料）をお願いしています。

開催の日程やプログラムなどは、協会メールマガジンなどでお知らせしていきます。協会メールマガジンではその他の多くの協会行事なども配信しています。ぜひ、登録され、交流サロンや協会の行事への参加をお願いします。

交流サロンは、2015年1月のチャレンジャー募集で集まった新しいスタッフを中心に進められてきました。「新企画推進担当者会議」が持たれたのが3月初めで、ここから具体的な準備作業が始まりました。8月にどうにか交流サロン企画書案を取りまとめ、それにとともなう開催場所の確保、来場者集客方法の検討、

プログラム、既存協会活動との調整など1年足らずの立ち上げは、いろいろな試行錯誤と課題解決の連続でした。

この間、新しいスタッフたちは、外国の方たちと一緒に、お互い住みやすい環境を作り上げることは、船橋市の発展にも寄与し、市民の務めでもあるとの思いで取り組んで来ました。お互いが分け隔てなく、思いやりをもって、私たちのできるところから協力し合える社会を目指して、この交流サロンを、レクリエーションなどを通じ、いろんな話し合いや、悩み事相談などもでき、気楽に参加できる楽しい「話し合いの場」にしていきたいと考えております。

この3カ月、まずは順調にスタートしました。皆様のご支援の賜物と感謝しています。これからも一層のご来場とご支援をお願いします。



第3回 桜もちを作ろう



第4回 折紙でひな人形作り

交流サロンスタッフ 高橋 修

船橋市国際交流協会は「メールマガジン」の配信を開始しました

船橋市国際交流協会では、2016年1月4日（日）より多言語対応の「メールマガジン」の配信を開始しました。これは、当協会の会員の方にも、そうでない方にも、協会で開催するイベントに参加していただく機会を増やすことを目的としています。

イベント関係だけでなく、在住外国人向け多言語版生活情報紙「YOKOSO/ようこそ」の最新版発行のお知らせや随時のボランティア募集などいろいろな情報をこのメールマガジンでお知らせしていきます。年3回の協会ニュースは、これまで通り発行いたしますが、協会は協会ニュースに掲載していないイベントもいろいろと開催しています。皆様もぜひ、メールマガジンに登録していろいろなイベントにご参加ください。

メールマガジンへの登録の仕方

- ① 船橋市国際交流協会のホームページ（fira.jp）のトップページで、「メールマガジン登録をお願いします。」の表題部分をクリックします。

メールマガジン登録をお願いします。

船橋市国際交流協会（FIRA）でメールマガジンを始めました。イベント情報その他を、都度お送り致します。会員の方も、そうでない方も、ぜひご登録下さい。上のタイトルをクリックすると登録画面に移動します。

- ② 「船橋市国際交流協会のメールマガジンです。」という次の画面が現れます。この画面下方の□枠にあなたのメール・アドレスを記入し、**登録**をクリックして下さい。

船橋市国際交流協会のメールマガジンです。

Join the FIRA mail information service! To receive the latest information, enter your e-mail address and click registration button. Please check mail settings that you can receive 'firaoffice@gmail.com'.

船橋市国際交流協会の自動回復メール、登録後自動返信の趣旨は firaoffice@gmail.com

新規登録・解除・編集はこちらから

メールアドレスを入力してお進みください。

新規登録の方は、メールアドレスを入力後、登録ボタンをクリックすると必要事項を入力する画面が表示されますので、必要事項を入力し、確認ボタンをクリックしてください。氏名、ふりがな、生年月日、電話番号、性別の入力は必須ではありませんが、会員の方はできるだけ入力をお願いします。

送信アドレスはfiraoffice@gmail.comです。受信設定等のご確認もお願いいたします。

登録 解除 編集

- ③ 登録用の様式が表示されます。必要な事項を記載してもう一度下部の**登録**をクリックして下さい。メールアドレスと希望する案内項目、会員/非会員の3つの項目が必須項目で、他の項目は記入しなくても登録可能です。これで登録が完了です。
- ④ あなたのメールアドレスに登録完了の通知が届きます。登録完了を確認してください。

ミャンマー料理教室

3月10日（木）、中央公民館実習室にてミャンマー料理教室が開かれました。ミャンマー料理？食べたことあったかな。まあとにかく一度体験してみよう、と参加と取材を申し込みました。講師はミャンマー出身の平山イイキンさんです。

メニューは「チェッター・アールー」という鶏肉とじゃがいものミャンマー風カレー。主な材料は鶏モモ肉、じゃがいも、たまねぎ、ニンニクで、カレー粉やスパイス類は入るものの結構シンプルです。鶏肉や野菜を切っていますが、「えっ、これじゃお肉小さい?!」「ナンプレーはどこ?」「先生！これでいい?」とどこの班もあつという間ににぎやかな戦場と化しました。私はニンニクのみじん切りを担当しました。半個はあろうかという大きな塊ですが、しばらくすると目にしみて涙がぼろぼろ、目が開かなくなってしまいハンカチが手放せません。これではミャンマーにはお嫁に行けなさそうです。

玉ねぎとニンニクをスパイスとじっくり炒めたとこ

ろに鶏肉を入れて煮こみ始めました。「赤っぽい油が浮いてきますよ」と聞いていたとおり、鍋の中がつかやっぼくなり材料どうしがなじんできました。カレー粉は最後の最後に入れ、その上半量は混ぜ込まず表面にかけてそのまま蒸らして香りが立つようにします。

サラダとフルーツ、ミャンマーのミルクティーを添えていよいよ試食です。大きめに切った鶏肉の食感も良いのですが、私はじゃがいものホクホクさと甘さがとても気に入りました。時間もそれほどかからず、スパイスも油もほどよく、近いうちにぜひ家族にも振る舞ってみたいと思っています。

広報委員 福岡



左上：丸っこいミャンマー文字

右上：前から2列目右が講師。参加者と。

左下：できあがり

右下：玉ねぎとニンニクをしっかりとみこむ。

漢字班立ち上げの経緯と現状

日本語教室

船橋市国際交流協会では市内の公民館など7カ所で外国人が生活に必要な日本語を習得するための日本語教室を開催しています。

中央公民館教室では、学習者の中から特に漢字に重点を置いて学びたいと言う要望が多く寄せられるようになり、これに応じて2014年4月に新規の漢字学習班をスタートさせました。2016年2月現在の漢字班在籍者は5名です。

◎漢字学習班への参加条件

ひらがな・カタカナの読み書きができ、かつ教室用語を用いた会話能力があること。

◎現状

1 目標

実生活において使用される漢字を理解し、普段の生活で役に立つことを目指す。小学4年までに学習する漢字(640字)を覚えると、広報誌の内容が7割程度は把握できると言われているので、600~700字程度の漢字を理解できるように、日常生活で接する漢字をより多く学習することを目標としている。

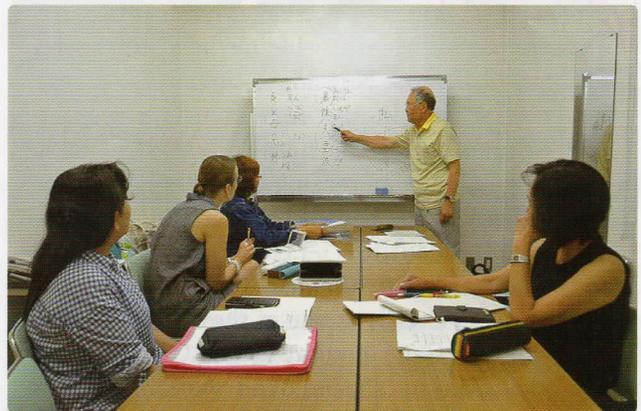
2 漢字学習の実際

基本として、使用頻度の高い字を選び、やさしい字から始めて順次画数の多い字へと進む。漢字・単語の意味の理解と読み方に重点を置く。書き方は漢字を理解するための学習と位置づけている。

応用学習として、並行的に日常生活に密着した熟語・短文作成を学習している。更に習熟度確認のため、適宜小テストも実施している。

その他に漢字学習に伴って適宜、歴史や文化などの話も入れて説明したり、また授業中の会話を通じて文法やアクセントなどの間違いがあればその都度修正し、漢字以外の日本語の基本指導を行っている。

外国人の皆さんにとって日本での生活が快適なものになるよう、日本語のバリアを取り除く手助けをすることが私たち日本語ボランティアの役割であり、学習者の立場になって分かりやすい授業を心がけています。



授業風景

中央公民館 日本語教室漢字班担当 岩田博之

楽しく新年を祝う会

1月24日(日)11時より「たのしく新年を祝う会」が薬園台にある「アートマン」で開かれました。雪が降るのではないかと心配されましたが、暖かい陽射しの好天でした。前回の開催は2014年だったので、久しぶりの会を待ち望んでいた人もいたことでしょう。参加者は7人の外国人を含めて、およそ55名で、外国人は、中国、ミャンマー、アメリカ、バングラデシュと多岐にわたりました。

テーブルには参加者持ち寄りの自慢の料理、お菓子、果物、ワイン、スタッフが作ったお汁粉、甘酒など豊富に並び、皆さん満足されたことでしょう。ひとしきり食事を楽しんだ後、アトラクションに入りました。

アトラクションは恒例の斉藤さんによる、おめでたい「獅子舞」で始まり、斉藤さんは最後まで「白狐」で締めて下さいました。2番目は昨年発足した「コーラス ピコロ」の合唱で4曲披露。練習不足でしたが、どんなグループか知っていただけただけのことでしょう。次

は平山イイキンさん家族のギターと歌の演奏、そしてアメリカ出身でALTとして日本に住んでいるラビ・スター・フィッツジェラルドさんの歌と落語が演じられました。落語の題目は「四六のがま」で、在日2年とは思えないほどの素晴らしい日本語でした。平山さんのオールディーズの歌に合わせて皆で踊って閉会となりました。



持ち寄りのご馳走



ラビさん

広報委員 中川

Did you hear?

知ってた?

Japanese Things That Foreigners Like No.1 Japanese Colored Carp (J.C.C)

Have you heard that foreigners have recently been interested in Japanese colored carp? Ex prime minister Mr. Kakuei Tanaka stepped down to his Japanese garden for feeding fish bait for plenty carp. This was a very popular famous story in the Showa period. At his childhood home in Niigata, the colored carp started. In the beginning of the 19th century Yamakoshimura was just a village. The colored carp was only black at first. And they were used for only eating. But suddenly red carp started appearing. Now 80 percent of the colored carp produced is exported abroad. This has become a big export business bringing in about seven billion yen a year. Nowadays, many foreigners buy directly from the fish farmer using no middle man. And the numbers of foreigners buying J.C.C. are increasing. J.C.C. costing over ten million yen are not uncommon. These people say, "What beautiful J.C.C. they are!" How sexy they are!" to the fish farmers. A carp swimming gracefully is one of the biggest selling points. Lady Gaga bought 27 J.C.C. when she was sick. Maybe she enjoyed watching them swimming sexy like.

外国人に人気の日本の物—その1 錦鯉

錦鯉が今外国人にとっても人気だと知っています

か?昭和の日本のお金持ちは、大きな日本庭園に、錦鯉を飼うのが一般的でした。元首相田中角栄氏が、下駄履きで庭に出て、錦鯉にえさをやっている姿が金持ちの象徴でした。田中氏の地元の新潟が錦鯉の発祥の地です。19世紀初頭に旧山古志村で、食用に飼っていた黒の鯉から突然変異で、赤い色の鯉が生まれました。現生産量の約8割が海外へ輸出され、輸出額は年間約70億円となっています。近年では、直接日本に買い付けに来る外国人が、急増しています。1000万円越えの鯉も珍しくありません。「なぜこんなに美しいんだ」「なんてセクシーなんだ」と感嘆の声が多くあがっています。レディガガも腎臓病を患った際に27匹も購入したそうです。セクシーに泳ぐ鯉を見て癒されたことでしょう。

広報委員 福井

ハイワード市姉妹都市提携30周年

ハイワード市との姉妹都市提携は、1986年に締結されました。30周年にあたる今年の秋にはハイワード市からの親善使節団の来船が予定されています。同時期、船橋市へのホームステイも予定されています。

いろいろな行事やホームステイ・ホスト募集など、具体的な内容が定まり次第、協会メールマガジンや次号の協会ニュースなどでお伝えしていきます。

30周年を契機として、更なる新しい友好関係の構築に努力していきたいと思えます。

お問合せ：船橋市国際交流協会 事務局

TEL：047-436-2083 FAX：047-436-2089

お知らせ

平成28年度総会を開催します

平成27年度の事業報告及び平成28年度の事業計画、その他の議案を審議し、決定するため下記のとおり総会を開催します。なお、総会に諮る議案は、後日会員の皆さんに送付します。

日時 平成28年5月11日(水)午後2時30分から

会場 商工会議所6Fホール(船橋市本町1丁目10-10)

懇親会 総会終了後同所において懇親会を開催します。

平成28年度会費納入のお願い

協会の会費は年度会費です。平成28年4月から翌年3月までの会費を、平成28年4月25日(月)までに納入お願いします。

同封の「払い込み取扱票」でお近くのゆうちょ銀行、または千葉銀行へお振込みをお願いします。

<年会費> 個人 一口 2,000円(平成28年度より改定しました。)
法人・団体 一口 10,000円

※2口以上の場合は、お手数ですが通信欄に口数記入にご協力をお願いします。

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号記号 00170-7-57755

加入者名 船橋市国際交流協会

千葉銀行船橋市役所出張所 口座番号 普通3018415

口座名義人 船橋市国際交流協会 会長 田村 泰一

あしがき

安全・安心の結び?

日本人固有の穏やかさや律儀さが造り出している住みよい生活環境は、世界の中でも誇り得るものと言える。

しかし、記憶にも新しい、想いもかけない長距離バス事故の悲惨さや、廃棄処理対象の食品を、闇の中の不正な取引で再度我々の食卓に持ち込むような不祥事が頻発しており、『安心・安全の日本』の神話の結びが嫌でも感じさせられる。

オリンピック開催も控えて、ワンランク上の安全・安心を得て、誇りうる日本を外国の方に理解いただけるよう努力しなければなるまい。

(K.I.)